

施策5-2-2 犯罪と事故のないまちづくり

担当課 防災防犯課

施策が実現できたときの状態

- ・価値観の異なる住民の混在や生活基盤の不安定等がもたらす社会環境の変化等により犯罪が増加し、また、交通車両の増大、高齢者の増加、飲酒運転等モラルの低下に伴う交通事故も増加している傾向の中、住民自身や高齢者・幼児等の家族が、安全で安心して生活できるような地域環境が整備されている状態です。
- ・自己防衛の手段を身につけること、また「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識のもと、目に見える活動を展開する防犯組織や見守り隊等が地域に存在し、個人・地域・行政の役割を認識し、併せて安全施設の充実と連携が実感できる地域の状態です。

平成26年度の重点課題

- ・死亡事故が平成25年4月30日に発生し、継続3年を目前に事故が発生し途切れ、その後平成26年2月11日にも1件の死亡事故が発生してしまいました。改めて死亡事故ゼロを目標に、発生確率の高い高齢者等を中心に安全教室の充実や啓発に取り組みます。
- ・飲酒運転の根絶に取り組みます。

施策の達成（実現）に向けた今後3カ年の取り組みと方針

- ・地域における交通安全及び防犯組織の継続的な活動の支援と共に、高齢者事故件数と飲酒運転検挙者数は少ない状況が続いていますが、人口千人当たりの飲酒運転検挙率は県内33市町村中8番目と平均よりも高く、根絶するまで引き続き、地域の運動（誓約書等）に取り組む必要があります。

施策目標値の達成状況



